

セミナーのお知らせ

ケラチノサイトによる皮膚の免疫応答の制御

Direct control of regulatory T cells by keratinocytes

柏木麻里子博士

Cutaneous Biology Research Center,

Massachusetts General Hospital

Department of Dermatology, Harvard Medical School

日時：2017年3月21日(火) 17:00-

場所：大阪大学医学部 講義棟3階D講堂

表皮ケラチノサイトは環境中の刺激に反応し、速やかに遺伝子発現を変化させ、サイトカイン、ケモカイン等を分泌することで外部からの刺激を内部に伝える役割を担っています。今回のセミナーでは、クロマチン制御因子 Mi-2 β /CHD4 が表皮ケラチノサイトの遺伝子発現制御にどのように関わっているか、また、Mi-2 β /CHD4 のターゲット遺伝子のひとつである、サイトカイン Thymic Stromal Lymphopoietin (TSLP) を介した免疫制御機構について、最新の研究成果をお話しいただく予定です。たくさんのご来聴をお待ちしております。

Kashiwagi M, Hosoi J, Lai JF, Brissette J, Ziegler SF, Morgan BA, Georgopoulos K. *Nat Immunol*. 2017 Mar;18(3):334-343.

世話人 医学系研究科 生体システム薬理学 永森收志 (問合せ：内線 3521)

免疫制御学

梅本英司